

## 山元町将来人口推計の考え方

### 1 条件設定

#### (1) 減少率について

##### 【考え方】

- ① 人口の推移を震災後のH23.3～9月は実績値、H23.10月以降は、人口推移が震災前と同等となると仮定
- ② ①の条件で、復興計画完了目標であるH30での人口を推計

#### ① 人口推移（減少率等）の設定

年	月	人口推移	備考
H23	3～9	実際の人口減少数（※1）	実績値
	10～	震災前の減少率で推移（※2）	推計値

#### ② ①の設定による人口推計

	月	人口（人）	転出（人）	転出累計（人）	備考
H23	2月末	16,695			
	3月末	15,946	344	344	※1
	4月末	15,269	596	940	※1
	5月末	15,018	236	1,176	※1
	6月末	14,865	155	1,331	※1
	7月末	14,775	105	1,436	※1
	8月末	14,713	83	1,519	※1
	9月末	14,628	97	1,616	※1 3月～9月累計
H28	9月末	13,705			※2
H33	9月末	12,721			※2

（H30の推計人口）

H28～H33の間の減少数984人から「-197人/年」と推計し

H28の13,705人-197人×2年=13,311人

■上記設定による、H30の推計人口は13,311人

#### (2) 人口回帰について

##### 【考え方】

- ① H23年8月実施の「津波により被災された方々への今後の住まい等に関する調査」により、震災後に町外へ移転した方が、再び町内へ移転すると想定される割合（回帰係数）を算出
- ② 震災前の転出人口の動向を考慮し、H23.3～9月までに実際に転出した人数に回帰係数を乗じて町内へ戻ってくる人数を推計

- ① 震災後に町外へ移転した方が、再び町内へ移転すると想定される割合  
意向調査で、町外へ既に移転されている358件のうち回答のあった227件を対象

意向調査（問10）今後の居住地はどちらを希望しますか。

	回答数（件）	率（％）
回答「4 町外移転希望」	60	26.4
回答「5 その他」町外移転希望	2	0.9
回答「5 その他」町外で持ち家	6	2.6
回答「5 その他」町外施設入居	9	4.0
町外移転希望者合計	77	33.9
町外移転希望者以外	150	66.1
回答総数（無回答者含まない）	227	100.0

⇒町内へ転入すると想定される割合は、66.1％（回帰係数）  
（〈回答総数227－町外移転希望者77〉の総数227に占める割合）

- ② 震災前の転出人口の動向を考慮し、3～9月までに実際に転出した人数に回帰係数を乗じて、町内へ戻ってくる人数を推計

●震災前の転出人口の動向を考慮

年間転出者数（宮城県推計人口・年報による）

年	H21	H20	H19	H18	H17	H17～21 平均
転出者数（人）	490	550	616	629	502	557

1年間を基準としているため、557人 ×（7か月/12か月）＝325人  
⇒325人が3～9月までの7か月間で、震災の影響以外の理由から転出していると推計する。

●震災の影響により転出した人数

1,616人（3～9月までに実際に転出した人数）－325人 ＝ 1,291人

●町内へ戻る人数

1,291人 × 66.1％（回帰係数）＝854人

■町外へ転出した人のうち854人が町内へ戻ってくると推計

## 2 H30の将来人口

1（1）、（2）より

13,311（H30の推計人口）＋854（町内へ戻ってくる推計人口）＝14,165人

■復興計画完了のH30山元町人口は、14,000人と推計